

**ノリ養殖環境速報 KH-29-14 (播磨灘)** 平成30年3月15日 発行

※平成29年度から「珪藻赤潮情報」の名称を「ノリ養殖環境速報」に変更しています。

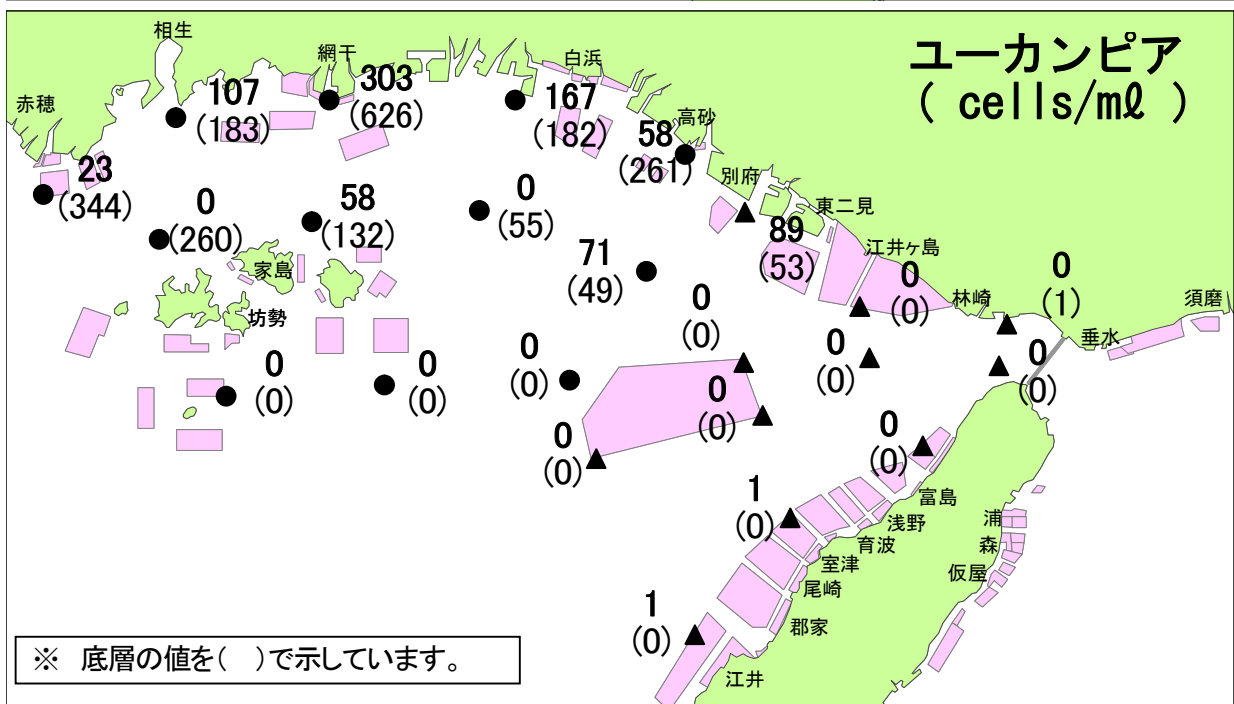
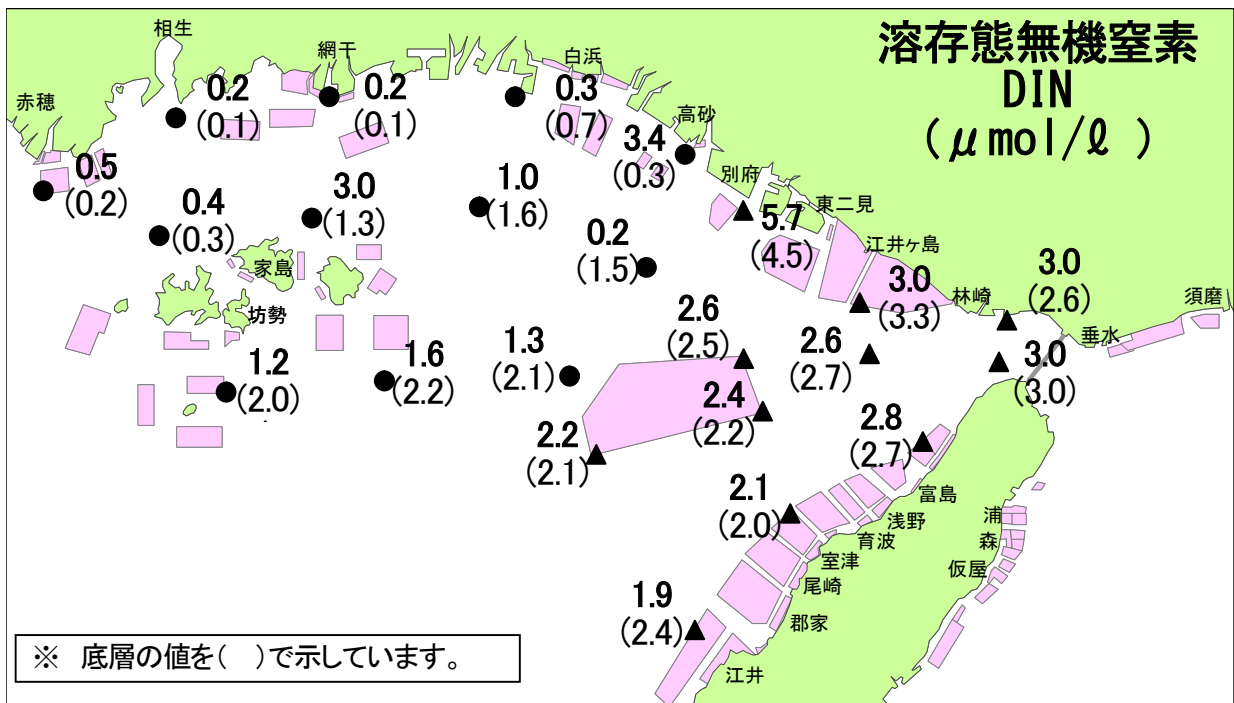
調査年月日：3月14日

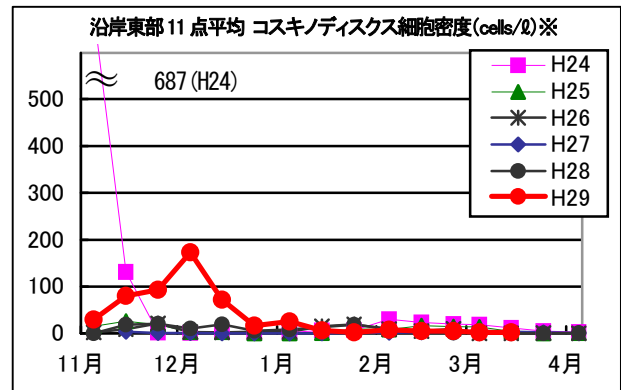
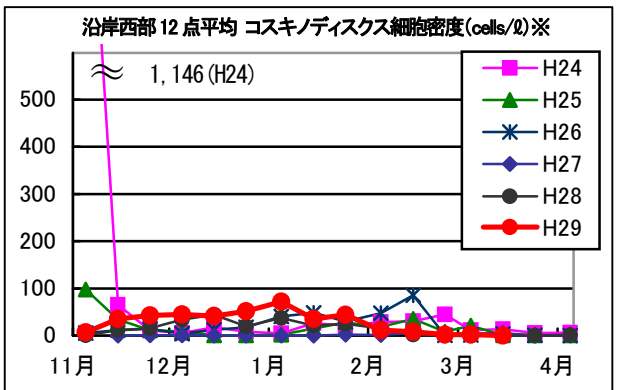
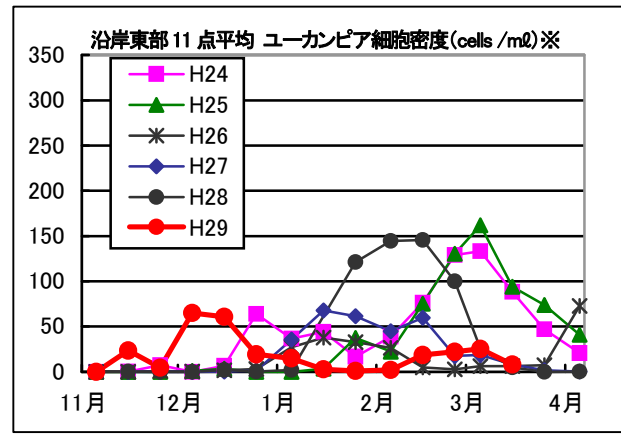
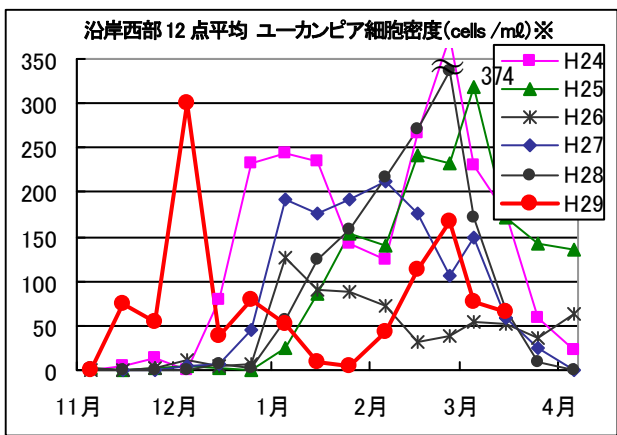
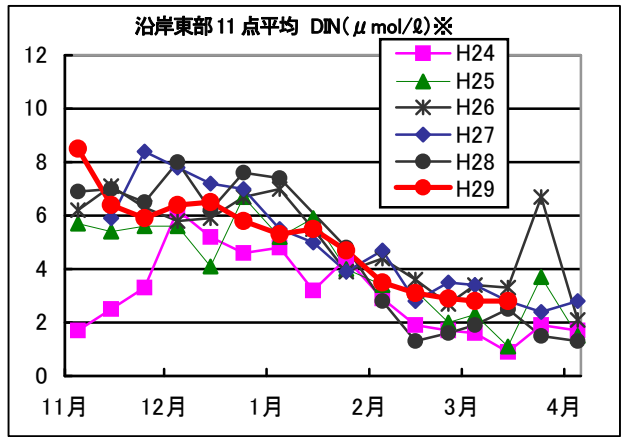
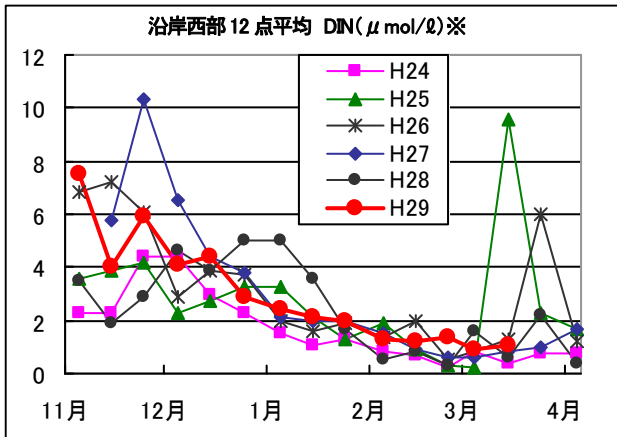
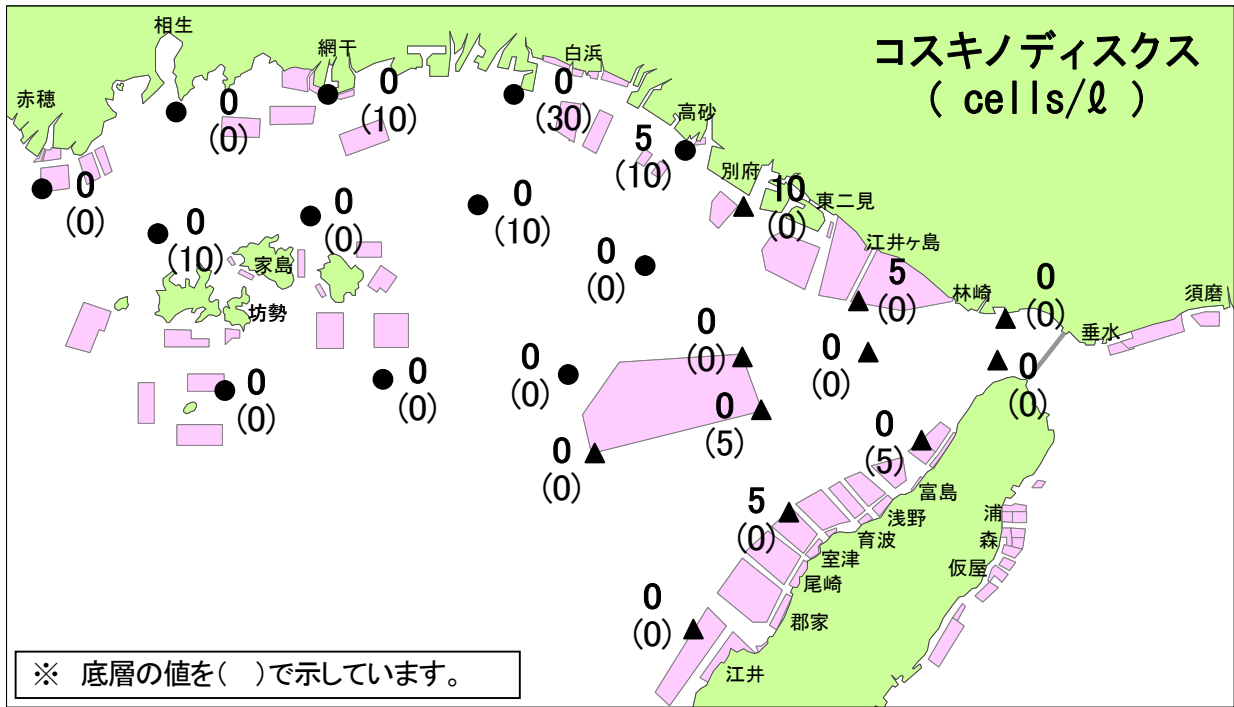
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

**概況** 播磨灘(調査海域)のDIN濃度は、東部海域で概ね $2\mu\text{mol/L}$ 以上、北部沿岸域では $1\mu\text{mol/L}$ を下回っている海域があります。

大型珪藻のユーカンピアは北部沿岸域で多く確認されています。コスキノディスクスワイレシーは全域で確認されていますが散見される程度です。

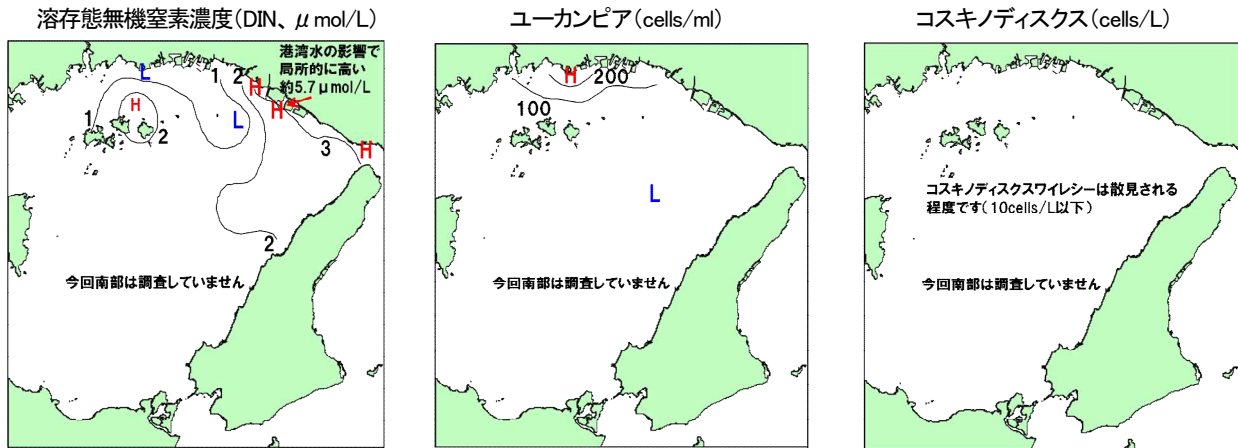
水温は、白浜以西では $9.3\sim 10.0^\circ\text{C}$ 、家島諸島周辺では $9.3\sim 10.1^\circ\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で $9.0\sim 9.2^\circ\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では $8.7\sim 9.3^\circ\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では $8.9\sim 9.5^\circ\text{C}$ でした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

## 平成30年3月14日の水平分布状況(表層、実測値)



\* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

### 播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部沿岸（加古川～姫路）では、前回の調査時に引き続きユーカンピアゾディアクスが多く出現しています。穏やかな天気が続いていることもあり、プランクトンは底層で多くなっています。また、同海域ではキートセロスも比較的多く発生しています。コスキノディスクスワイレシーは散見される程度です。

播磨灘北部沿岸域では、表層のDIN濃度が低く、 $1\mu\text{mol/L}$ を下回っている海域があります。東部海域のDIN濃度は、概ね $2\mu\text{mol/L}$ 以上を維持しています。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年より多いとされています。海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は、現状維持程度と考えられます。

### 週間天気予報 気象庁 3月14日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間（3/15～3/21）の近畿地方は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日があるでしょう。

最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より高く、かなり高い日がある見込みです。降水量は、平年より多いでしょう。

### その他の情報

- ・岡山県の調査（2/28）では、日生沿岸でDIN（表層）が $0.8\sim 0.9\mu\text{M}$ でした。大型珪藻のコスキノディスクスは確認されず、ユーカンピアは $60\sim 70\text{cells/ml}$ 確認されました。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

### 【今後の予定】

- ・平成30年4月上旬まで毎月3回程度（上・中・下旬）の発行を予定しています。
- ・次回は平成30年3月23日頃に発行予定です。
- \*この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。  
<http://www.hyogo-suigi.jp/>